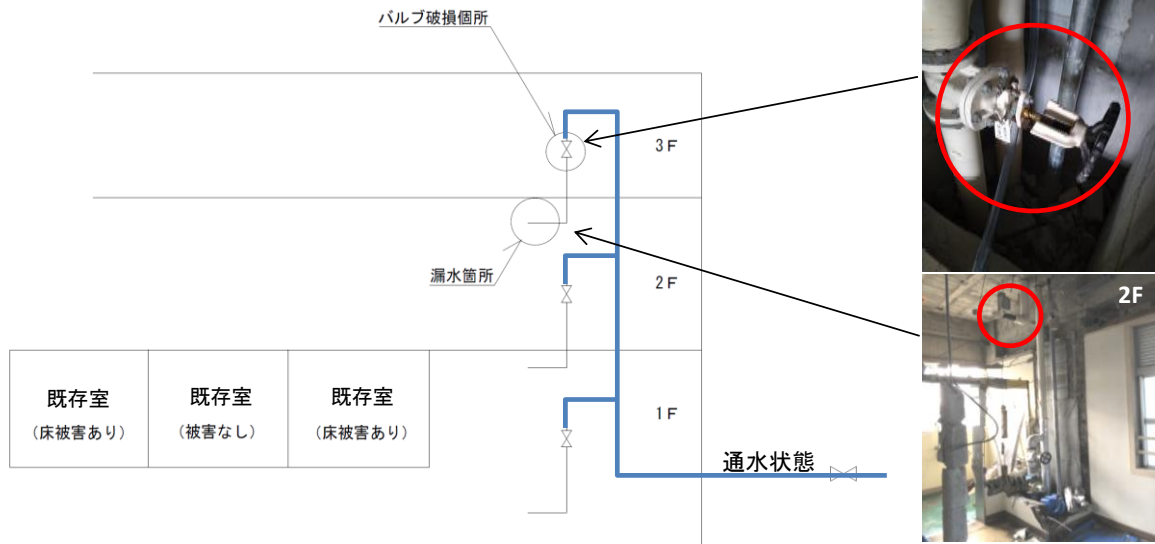


# 公共工事等事故情報

事故分類	物損公衆災害	発生日時	令和 2年 1月10日(金) 14時20分			工事関係者区分	一次下請
事故区分	その他の物損	性別	—	年齢	—	業種区分	設備
被災程度	既存施設の水濡れ被害			事故レベル	I	休業見込日数	—
工事概要	便所改造に伴う衛生設備工事						
事故概要	既設便所内装の解体工事にあたり、関連工事である建築工事にてパイプスペース(以下PS)壁を撤去した際、コンクリートの破片が通水中のPS内給水バルブに当たってこれを破損・漏水させ、既存施設の床に水濡れの被害を及ぼしたもの。						
事故原因	PS壁の撤去に先立ち、建築工事受注者は内部の管に影響が出ることを設備工事受注者に伝えていたが、設備工事受注者は別箇所のPSのことと認識し、建築工事の撤去範囲や時期を十分に確認しないまま、当該給水管の止水等、必要な事前措置を行っていなかった。						
改善策	現場において、下請業者も含めた衛生設備工事関係者による安全会議を開催し、事故の経緯や要因を確認するとともに、関連業者との情報共有・協議の徹底など、再発防止策について周知を行った。						

## 事故状況図



## 改善状況図



再発防止に向けた安全会議の開催



事故状況の確認

# 公共工事等事故情報

事故分類	死傷公衆災害	発生日時	令和2年1月10日(金曜日)17時30分			工事関係者区分	元請け
事故区分	転倒	性別	男性	年齢	不明	業種区分	土木
被災程度	擦り傷及び衣服破損			事故レベル	Ⅱ	休業見込日数	-
工事概要	歩道舗装工事						
事故概要	事故当時、当該歩道部の路盤工事等を完了し、舗装工事を行うまでの間一般開放していたもので、被災者が乗った自転車が車両乗り入れ部において車道側から歩道内に乗り入れようとしたが、擦り付けがなされておらず段差(約5cm)があったこと、車両乗り入れ部のため横断勾配が一般歩道面(1%)より急であった(15%)ことからハンドルを取られ、転倒したものの。						
事故原因	路盤解放されていた、車両乗り入れ部において擦り付けがなされておらず段差(5cm)が生じていたこと、また所領乗り入れ部であったため横断勾配が一般歩道(1%)より急であった(15%)ため。						
改善策	・路盤材での擦り付けによる段差の解消						

## 事故状況図



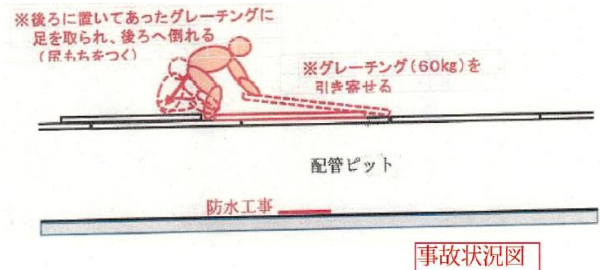
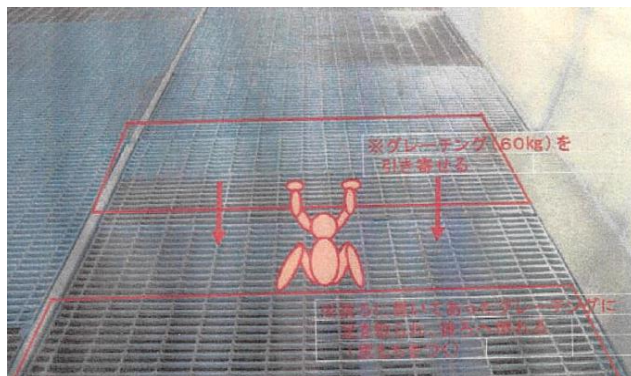
## 改善状況図



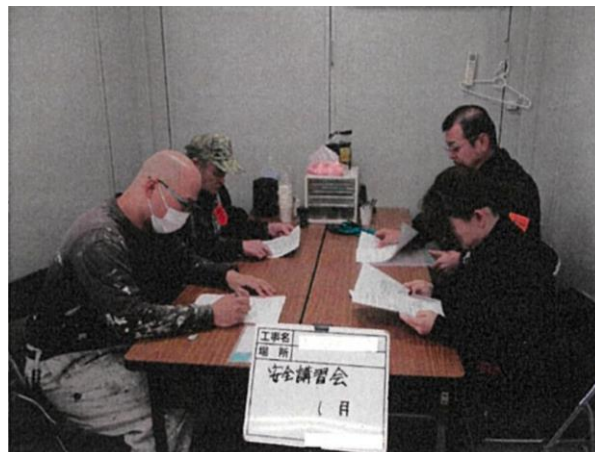
# 公共工事等事故情報

事故分類	労働災害	発生日時	令和 2年 1月 9日(木曜日) 10時 45分			工事関係者区分	二次下請
事故区分	転倒	性別	男性	年齢	50代	業種区分	建築
被災程度	第11胸椎圧迫骨折			事故レベル	Ⅱ	休業見込日数	3ヶ月
工事概要	槽外壁改修工事						
事故概要	配管ピット床の防水工事を施工するために、被災者が一人で、通路床グレーチングを引き寄せたところ、後方に置いてあったグレーチング蓋につまずき、後方へ転倒し、第11胸椎を圧迫骨折したものである。						
事故原因	事故当時、被災者が作業を行う際に周囲の状況を確認していなかったこと及び、グレーチング蓋が1枚約60キロあるにも関わらず、一人で作業を行っていた事が事故の原因であると考えられる。						
改善策	・関係者全員に人力による重量物の移動作業等については、単独では行わない事・作業前に十分周辺確認を行う事を作業員に周知						

## 事故状況図



## 改善状況図

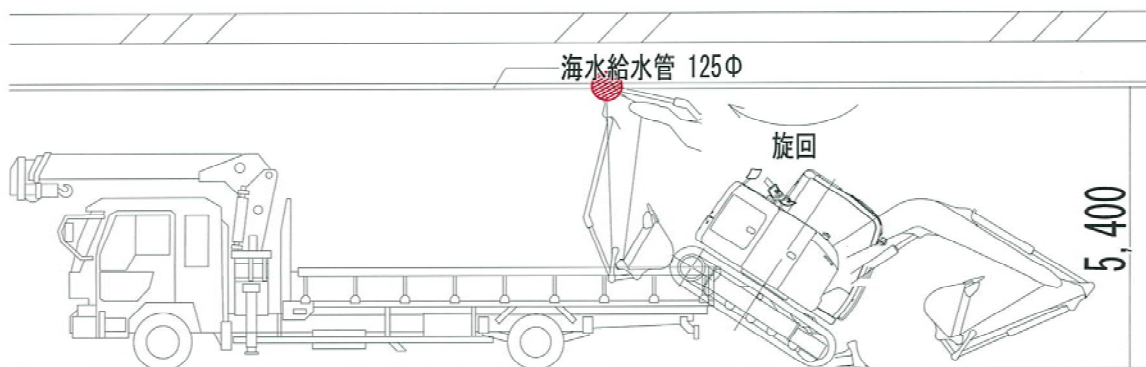


関係者への周知状況

# 公共工事等事故情報

事故分類	物損公衆災害	発生日時	令和2年 1月 15日(水曜日) 11時 30分			工事関係者区分	二次下請
事故区分	その他の物損	性別	—	年齢	—	業種区分	建築
被災程度	施設内での一時給水停止。			事故レベル	I	休業見込日数	—
工事概要	建物改修工事						
事故概要	本件は運搬車両(ユニック車)から床板撤去作業用のバックホウ(0.4m <sup>3</sup> )を下ろしていたとき当該バックホウのアームが天井部(地上5.4m)にあった海水給水管(φ125mm, 場内散水用)に接触してこれを破損した案件である。事故発生時、バックホウを自走させて降ろすため、まずバケットを地上面にあてて本体を支えながらキャタピラ一部を地上に接地させ、次にアームを旋回させてユニック車荷台にバケットをあてて支えながら前進させて降ろすこととしていたが、アーム旋回時に海水給水管にアームを接触させたものである。						
事故原因	本件事故はアーム旋回時にバックホウの運転席から海水給水管が死角になり視認しにくかったこと、バックホウ運転者が回送業者であり現場状況を十分理解していなかったこと、さらに屋内での重機の操作であったにもかかわらず監視者を配置していなかったことが原因で発生したものと思考される。						
改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重機積卸作業は、屋外で行う。</li> <li>・建物下での作業については、監視人をつける。</li> <li>・注意喚起の表示をする。</li> <li>・朝礼・災害防止協議会等で関係者に通知する。</li> </ul>						

## 事故状況図



## 改善状況図

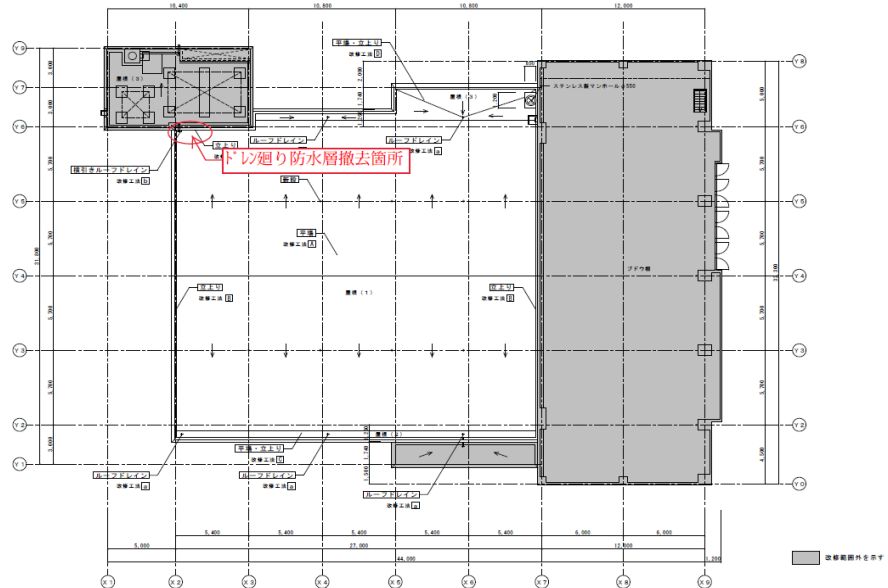


- ・天井に注意喚起標識を設置
- ・柱に注意喚起標識を設置
- ・監視人を配置

# 公共工事等事故情報

事故分類	物損公衆災害	発生日時	令和 2年 1月 26日(日曜日) 15時 01分			工事関係者区分	元請け
事故区分	その他	性別	—	年齢	—	業種区分	建築
被災程度	2階及び1階の天井, 床, 壁材への漏水			事故レベル	I	休業見込日数	—
工事概要	防水改良工事						
事故概要	ドレン廻りの防水層撤去を行い, 塗膜防水にて仮防水まで行う予定だったが, 当日は防水層を撤去しモルタルの補修を行ったところで作業を終了していた。26日の降雨により防水層を撤去したドレン廻りから階下2階機械室へ漏水し, スラブのクラックを通じ1階ホールまで漏水したもの。						
事故原因	ドレン廻りの防水を撤去したことにより, 漏水に至ったことから, 仮防水まで行えなかったことが原因であると考えられる。						
改善策	防水工事等において降雨による漏水の可能性がある箇所の施工については, 天候を踏まえ適切に作業計画を行うよう徹底する。						

## 事故状況図



## 改善状況図

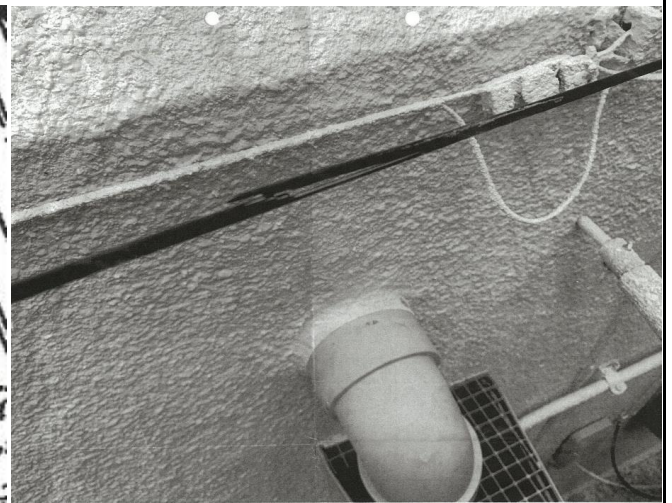


漏水事故注意喚起状況

# 公共工事等事故情報

事故分類	物損公衆災害	発生日時	令和 元年 1月22日(水曜日) 13時00分			工事関係者区分	二次下請
事故区分	その他の物損	性別	—	年齢	—	業種区分	建築
被災程度	光ケーブルを切断			事故レベル	I	休業見込日数	—
工事概要	外壁塗装工事						
事故概要	管理棟外壁吹付工事が終わり、光ケーブルを養生していたマスカーターペを撤去していた際、誤ってカッターナイフで光ケーブルを切断してしまった。						
事故原因	光ケーブルを養生した塗装工事作業員と養生を撤去した作業員は、それぞれ別の作業員であり、情報共有がされていなかったことから、光ケーブルがあることを知らずに作業を行った。						
改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施工方法の確認。</li> <li>・連絡体制の徹底。</li> <li>・現場代理人に毎朝のKY活動の徹底と見回り点検の徹底。</li> </ul>						

## 事故状況図

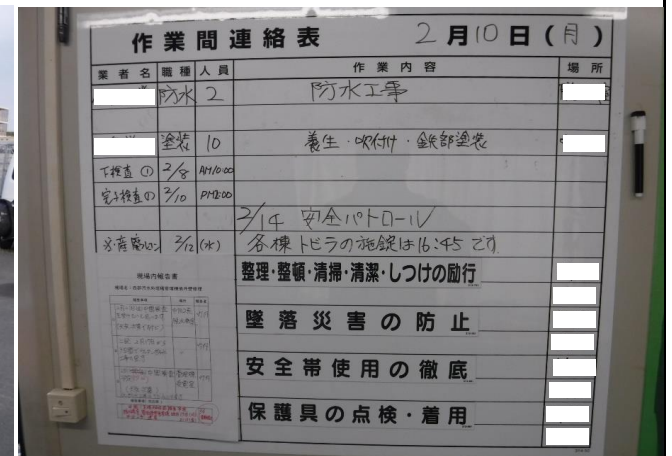


光ケーブル切断

## 改善状況図



KY活動の実施

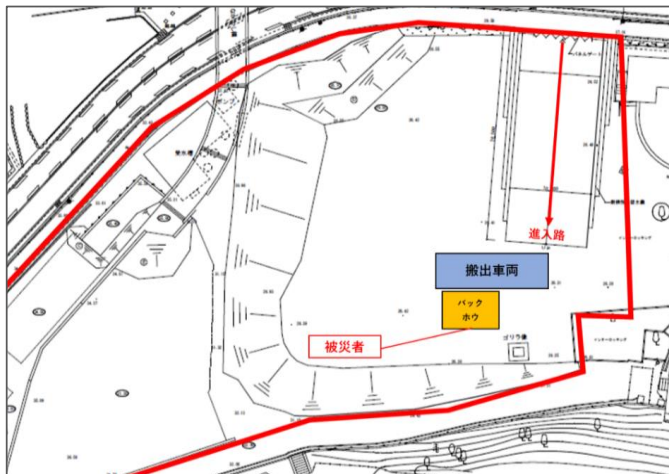


作業間連絡表の設置

# 公共工事等事故情報

事故分類	労働災害	発生日時	令和2年1月31日(金曜日) 8時40分		工事関係者区分	二次下請	
事故区分	挟まれ・巻き込まれ	性別	男性	年齢	73	業種区分	建築
被災程度	死亡	事故レベル	Ⅲ		休業見込日数	-	
工事概要	展示施設の新築工事						
事故概要	バックホウを輸送トラック積み込み中にバックホウが横転し、運転手である被災者がバックホウと地面に頭部を挟まれたもの。						
事故原因	<ul style="list-style-type: none"> <li>・搬出車両荷台が鋼製であり、その上泥も付着していた為滑りやすい状態であった。</li> <li>・重機メーカーにより操作方法が異なるため、当日使用したバックホウについては、慣れない作業となった可能性がある。</li> <li>・運転室の扉を開け後方を確認しながら操作をしていた可能性があり、横転時に運転室から放り出されたと推測される。</li> <li>・当時、誰も積み込み作業を確認するものがいなかった。</li> </ul>						
改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入場時の連絡を徹底する。確認が取れるまでは積込作業は開始しないことを厳守する。</li> <li>・重機及び積込車両の重量・寸法を確認し、適正な車両を使用することを事前に指示する。</li> <li>・監視者配置の必要性を認識し、積み下ろし・積込場所周辺の事前確認を行い、誘導・監視を含めた適正な人員を配置する。</li> <li>・重機メーカーの違いによる操作レバーの切替えの指示・確認を確実にし、積込開始前に実際の操作で確認する。</li> </ul>						

## 事故状況図



## 改善状況図

